

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	その他の集会所維持管理事業				②事業番号	4513			
③事業類型	4. 施設等維持管理事業			④開始年度	昭和	54 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称: 集会所等の整備事業費補助金交付要綱		
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード	款	3	項	1	目	12	細目	1	
⑨担当部名	健康福祉部			⑩担当課名	長寿社会推進課			会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市内区または自治会集会所	① 施設数	箇所
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市内の区又は自治会が当該地域住民のための集会所その他の施設を整備する。	① 整備補助件数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
予算の範囲内でその整備に要する費用の一部の補助を行う。	① 集会所数	箇所
	計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
当該地域住民のコミュニティー活動の促進を図る。	政策(章)	2: みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	3: みんなで支えあう福祉のまちをめざします
	施策中	1: 地域福祉の推進
	施策小	1: 地域福祉活動の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	施設数	箇所	25	25	26	26	26	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	整備補助件数	件	0	2	0	2	0	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	集会所数	箇所	22	22	23	23	23	
成果指標②								事業費などの推移における 特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.02	0.02	0.02	0.03		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	154	231		H30はコミュニティ 助成補助金を活用した 集会所(陸区)を建設。 R2は3施設について 修繕予定
	直接事業費	千円	758	19,078	750	1,488		
	総事業費	千円	758	19,078	904	1,719		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	15,000	0	0		
	一般財源	千円	758	4,078	904	1,719		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	泉南市開発指導要綱第47条集会所施設指導基準による集会所の設置に伴い補助金を負担した。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	施設の老朽化に伴い、修繕を要する施設が増加する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	公共施設のあり方について検討中。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	地域の福祉・コミュニティの場として活用されている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	利用者の安全の確保と快適に利用できるように整備が必要。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地域の中で互助の取組みの一端を担っており、地域の憩いの場として活用されている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	地域福祉力の向上の推進を後退させることになる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	地域の憩いの場として子育て世代や高齢者等に活用され、地域のコミュニティが図られている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	施設の活用方法において、多方面からの活用等を検討することで、その利用料等の発生により少額であるが収入も見込めるようになる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	統括した市の施設管理部門が必要。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	現在、各区・自治会が管理を行っている。多様な活用として、利用料等の徴収も視野に入れることも検討課題である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	各自治会の管理であるため検討すべき課題である。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	老朽化に伴い、計画的な維持管理計画が必要。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		ソフト面のファシリティーマネジメントにより、抜本的な活用方法の見直し中。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		計画的な改修計画、委託先の検討、区の理解など課題は多く、高齢福祉ではなく、市として、施設管理部門を設置すべきであると考える。